

市民と野党の共闘、日本共産党の躍進を！
ウソと強権のアベ政権は退けよ！ 日本共産党 演説会

多くのご来場、
ありがとうございました

6.17 日本共産党演説会 ダイジェスト

日本共産党岐阜県委員会委員長 松岡清

県党の参院選の目標は13万票を獲得して、比例と選挙区で勝利することです。統一地方選では念願の県議複数議席と市町村選で議席と得票を増やすことをめざしています。そのためにも勝利の土壌となる強く大きな党づくりをめざします。今日の演説会を契機に、ぜひ入党や赤旗の購読をお願いするものです。みなさんのご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

来賓あいさつ

ピースハートぎふ代表 河合良房弁護士

2016 参院選では、野党が市民とともに手をつなぎ共闘してこそ安倍政権を倒せるのだ、ということで、民進、共産、社民と総かがり実行員会が組んでたたかいました。全国全ての1人区で共闘するという大きな成果を上げました。昨年の総選挙でも共闘をめざしましたが、民進党の乱があって、1区2区で推薦しましたが不十分な結果でした。現在、国民民主・立憲・共産・社民と市民で、来年の参院選の勝利をめざすことを確認しました。私は穀田議員と同じ1947年生まれ、憲法が施行された年で、まさに憲法の申し子として、何としても憲法を守る強い思いをもっています。

道は険しいが、共産党には野党統一候補実現の力になってほしい。毎月運動をしています。積み重ねが大きな力になることを確信しています。共産党がんばれ!!

日本共産党岐阜県後援会 稲垣豊子幹事

共産党を大きくしたい思いでがんばっています。昨年総選挙では野党共闘は伸びたが共産党が議席を減らし、本当に悔しい思いをしました。野党共闘を進めるには要の共産党が大きくならねばと思います。悪政のなかでもセクハラ問題は絶対に許せません。世界で日本は恥ずべきジェンダー指数(114位)です。岐阜県母親大会での憲法分科会で、自衛隊員が憲法9条で命拾いしているとの話を聞きました。共産党が90年以上平和を守る活動をしてきたことにうれしい思いをもっています。地道に毎日汗をかきながらがんばっています。新婦人は毎議会で核兵器禁止を求める請願をしてきました。すぐに不採択ですが、紹介議員の中川県議が孤軍奮闘しています。県議会で共産党議員1人でなく複数にしたい。みなさん、がんばりましょう。

2019 岐阜県議選挙予定候補 中川ゆう子県議(岐阜市区)

笹田トヨ子(大垣市区)現大垣市議の紹介と決意表明



2019 参院選挙 岐阜選挙区 高木光弘 県委員会書記長

4月9日の立候補発表から2ヶ月ほどになりますが、この間私は、県内の主な自治体を中心に二回りしまして、様々な声を聞かせていただきました。

J A飛騨の方は、アメリカ抜きでTPPを承認しアメリカとは二国間で協議をもとうとしていることに、首を強く振って「とんでもない。アメリカにやられてしまう」と言われました。高山では商工会の方と消費税の話になり、「来年10月の消費税増税で、複数税率(インボイス)が導入されると商店街の方々は後継者がいない中で、年寄りにそんな複雑な実務ができるのかとても心配をされている」ということでした。

中津川市では、「基礎年金だけではとても暮らしていけない」との声や、国保坂下病院をなくして診療所にする動きやリニア新幹線建設への不満が出されました。大垣駅前では「安倍さんのやりたい放題やがね。頼むよ、応援してるんやで」と言われ、各務原市では森友加計学園問題に怒る声を聞きました。神岡では「久しぶりに宣伝カーの音でしたので出てきた。テレビを見ているだけではわからんで。減っている年金はどこに使われているんやね」と言われました。

古川の商店街では、手押し車の二人のおばあさんが憲法の話が聞きたいと言われました。お二人は92歳と94歳だそうで、92歳の方は「終戦の時は21歳じゃった。あの頃は戦争・戦争じゃった」としみじみ言われました。

安倍政権に対する怒りがうずまいています。こうした県民に思いこたえるために、本当に安倍政権を倒して、新しい政治を切り開かなければなりません。そのためには、国政選挙で市民と野党が共闘して、自民党、公明党とその補完勢力を少数に追い込む、これ以外に方法はありません。

「野党は共闘せよ」この声に押されて、これまで二つの国政選挙で野党共闘に挑戦しましたが、どちらもほとんど日本共産党は自らの候補を降ろしてたたかいました。それは、日本共産党は人からではありません。誠実に、真剣に、本気で政治を動かそうとする、それが日本共産党だからです。ですから、来年の参院選挙で本気の共闘を実現させて政治を変える一番確かな道は、日本共産党を強く大きくしていくことです。

2019 参院選挙 比例 井上哲士参院議員

比例代表で4期目の当選をめざします。私は被爆2世として育った広島市の平和公園で企画展が開かれ、被爆した広島一中1年生の父母による追悼集が紹介されていました。ある父は「必死に探しあつた。誰も顔が壊れていた。『お父さんですか』との最後の声を聞いた」とありました。改めてこんな兵器はなくさねばならないと誓いました。

核兵器禁止条約の採択に立ち会い、長い拍手と握手と抱擁、あっ、今歴史が動いたと思いました。日本が核兵器禁止条約に反対したこと、核兵器削減にも反対したことを国会で追及しました。『いったいあなたはどの国の総理か?』と訴えました。被爆国日本にふさわしい新しい政府をつくりたい、



それが比例候補としての私の決意です。

政府が核兵器禁止条約反対や安保法制強行、9 条改悪の理由にしてきのが、北朝鮮のミサイル問題でした。しかし米朝首脳会談で、非核化と安全の保証を相互に約束し、平和の構築に合意しました。対話を通じて解決を図る一步が動き始めました。自民党は国難・対話する時でないと言い、私たちは絶対戦争にはしてはならないと言ってきました。しかし今回の首脳会談の後、官房長官は「日本にミサイルが落ちてくる状況は明らかになくなった」と述べました。対話を続けて一步一步交渉を続けることが大切です。米韓軍事演習の中止も決まりました。日本政府の対話否定の態度を明確に改める時です。平和外交を訴え、軍拡を止めて福祉教育にお金を使えと主張してきた日本共産党を大きく伸ばしてほしい。国会議員が増えて質問回数が増え、議案提案権を活用できるようになりました。日本共産党を除く体制を崩し野党共闘が発展しました。共産党が伸びてこそ、市民と野党の共闘が前に進むということが私の実感です。どうか躍進させてください。

日本共産党国会対策委員長・衆院議員 穀田恵二

今日の演説会は参院選挙と統一地方選挙のスタートです。今日は共産党の役割は何かということをお話します。かけのない役割は、安倍政権と真っ向から対決する党であること、市民と野党の共闘を誠実にブレずに進める党、平和外交で世界にはたらきかける党だということです。

声をかけてくれる方は様々で、赤旗を配っていると「安倍さんを倒せないのはどういうことだ」と言われます。怒りが満ち満ちていることは確かなのです。一番の問題はウソをつく政治で、つじつまを合わせるためにウソを重ねる果てしない連続なのです。疑惑が広がることに大きな特徴がある。「ウミを出す、言った首相がウミの親」との歌もあります。これまでの果てない議論の責任は追及する野党ではなく、原因をつくった政府の責任だとの指摘もあります。内部文書が届けられますが、共産党に届けたらきちんと使ってくれ、国会で明らかにしてくれる信頼があるからだと思います。

モリカケ疑惑だけでなく、自衛隊内部文書も寄せられます。防衛省は情報公開の対象になっていること自体が問題だと言います。これは、昔の軍隊と同じ危険な発想で彼らは動いているということなのです。戦争する国づくりの一つ一つ問題を明らかにしていくことに、憲法を守るたたかいがあるのです。それが 3000 万署名と結びついて、お互いに学びあって阻止していきたいと思います。

働かせ方改悪は、残業代をゼロにして過労死を促進する法律です。必要性は誰にも聞いていないデタラメさです。労働者の要求ではないことは確かで、財界側は広く労働者の声を聞くことなどこれっぽっちも考えていないのです。これほど劣化している法案は廃案しかないのです。

カジノ法案も刑法で禁止された賭博がなぜ許されるのか。カジノ事業者が、客のかけ金の貸付が可



能ということまで言い出したのです。座頭市の映画で、負けた客が金を借りてまた負けて放り出される、それと同じです。成長産業と言うが、人の不幸で成長するなどんでもない。古来より賭博を否定する国だったのに。アメリカのカジノ資本に言われて政治を動かしているのです。

ウソも付き放題、自衛隊も憲法との関係で危険なところに踏み込もうとしている、平気で国民を貶めるところまで今きているのです。だからこの政権を打倒しようと思っているところです。ともに力を合わせたいと思います。

私たちは市民と野党の共闘という路線を打ち出しています。志位委員長は、なぜ安倍政権は倒れないのかとの問いに、それは野党次第と答えました。野党が信義の旗をかかげ結束してたたかえば倒せるのです。それを示したのが京都府知事選と新潟知事選です。大健闘し、あと一步のところまで追い詰めました。市民と野党が団結すれば安倍政権を倒すことができるという希望を示したと、私たちは考えています。

国会では 6 野党による緊密な共闘ができて、「野国連」と呼んでいます。毎週開催し認識を共有しています。院内共同集会を 8 回開いています。それ以外に野党の共同ヒヤリングは 99 回行われています。政策的にも運動的にも進化(深化)しています。3000 万署名の提出集会では野党党首が受け取りました。また 4 野党で即時原発ゼロ基本法案を提出しました。6 野党では十数年ぶりに予算の組み換え共同提案を提出しました。巨額の軍事費にメスを入れる、格差と貧困の是正を打ち出すことができました。

もちろん全てうまくいっているわけではないのです。地域の共闘など課題はたくさんあり、本気の共闘に踏み込むことも大切です。山も谷もある。広範な国民の怒りと運動がある限り前に進むことができるという確信をもっています。同時に共闘の力で政治を変える立場を貫いています。私たちも 1 人区で候補者を下ろす決断をするなど変わってきました。

韓国大統領は、戦争と核ミサイルの脅威から脱け出したことほど外交の成果はないと言いました。歴史的意義があるのです。北東アジアを平和と繁栄の地域にしようという動きに希望を感じています。安保法制、辺野古基地建設、憲法改悪を葬る可能性があるのです。

私たちは選挙に向かってたたかいを始めています。日本共産党の躍進の流れをつくることによって安倍政権を終わらせる決意を固めています。選挙で審判を下すことが必要です。共闘の勝利と日本共産党の躍進で政局の主導権を野党が握り、総選挙で野党連合政権をつくる展望があるのです。困難があってもみなさんの支えと激励があったからこそことができました。

共産党を伸ばすことが安倍政権を倒す一番の近道です。ぜひ「入党の訴え」をお読みください。

みなさんのご助力を賜わることをお願いします。ありがとうございました。



岐阜県民報 6月号外

2018.06 発行/日本共産党岐阜県委員会

岐阜市千石町 1-12 ☎058-265-3871

※日本共産党演説会を紹介します